

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	環境局
	政策		安全・安心が守られる社会環境の充実		課(室)名	環境総務課
	施策		安全・安心な暮らしの確保		電話番号	087-839-2388
	取組方針		水の安定供給		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		水環境対策等推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	「持続可能な水環境の形成に関する条例」、「水環境基本計画」に基づき、市民や事業者、水に関する様々な主体との連携を図りながら、本市における持続可能な水環境を未来の子どもたちに引き継いでいくために必要な施策の実施と進行管理を行う。また、香川用水の水源である早明浦ダム周辺の高知県嶺北地域と、利水域である本市が連携し、令和6年1月に本市、土佐町及び本山町の3自治体が出資した、「一般財団法人もりとみず基金」が設立されたことに加え、嶺北地域と本市が、令和5年度に共同提案し、採択された国の交付金を活用した連携事業を、同財団の事業と一体的に実施する。					
年度概要	①節水型街づくり推進協議会及び香川中央地域地下水利用対策協議会への負担金支出等 ②水源学習・都市地域交流事業 ③啓発・普及用品の作成及び配布 ④もりとみず基金の運営支援負担金					
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	持続可能な水環境の形成に関する条例	水

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	水に関わる関係者との連携協力により、持続可能な水利用及び管理手法が構築されることで、水の循環利用と節水の推進が図られる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	水源域交流イベントの開催回数	回	0	0	1	1	1
②							

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8																		
水源域交流イベント参加団体等件数	件	目標値	0	0	3	4	5																		
		実績値	0	0	3																				
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）				<table><caption>達成率データ</caption><thead><tr><th>R</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th></tr></thead><tbody><tr><td>達成率</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr></tbody></table>				R	2	3	4	5	6	7	8	9	達成率	0	0	0	0	3	4	5	6
R	2	3	4					5	6	7	8	9													
達成率	0	0	0					0	3	4	5	6													
昨年度は、同財団との共催により、内容を充実・拡大して、水源地域交流物産展を開催した。また、本市塩江地域で活動する一般社団法人トピカや嶺北地域の自治体とも連携協力し、水源地域の物産販売のほか、財団や水源地域に関する啓発情報の展示を行った結果、目標を達成することができた。		(目標達成度) 100.0%																							
		(得点) 35点																							

成果指標②

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8																		
		目標値																							
		実績値																							
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）				<table><caption>達成率データ</caption><thead><tr><th>R</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th></tr></thead><tbody><tr><td>達成率</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>				R	2	3	4	5	6	7	8	9	達成率								
R	2	3	4					5	6	7	8	9													
達成率																									
		(目標達成度)																							
		(得点)																							

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	2,994	3,024	6,628	12,772
	(事業費)	0	13	452	6,596
	(職員人件費)	[千円]	2,994	3,011	6,176

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	①節水型街づくり推進協議会及び香川中央地域地下水利用 対策協議会への負担金支出等 ②水源地域交流物産展開催	①393千円 ②59千円	総額	452	
			特定財源	国	29
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	423	
令和 7 年度	①節水型街づくり推進協議会及び香川中央地域地下水利用 対策協議会への負担金支出等 ②水源学習・都市地域交流事業 ③啓発・普及用品の作成及び配布 ④もりとみず基金の運営支援負担金	①396千円 ②3,000千円 ③500千円 ④2,700千円	総額	6,596	
			特定財源	国	3,100
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	3,496	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

一般財団法人もりとみず基金や水源地域の自治体等と連携し、本市HPでの周知啓発や交流物産展を開催した。今後も関係機関と連携し、事業効果を高めていく必要がある。

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	安全・安心が守られる社会環境の充実		課(室)名	環境総務課
	施策	安全・安心な暮らしの確保		電話番号	087-839-2388
	取組方針	水の安定供給		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	生活用水等確保対策事業補助事業			

【事業全体概要】

事業概要	香川県広域水道企業団が実施する水道事業の給水対象外の区域に居住する人に対し、飲用水の安定的な確保を図るため、井戸など自家用給水装置の新設・改修に要する費用や、給水ホース・貯水用タンクの購入費用の一部を補助し、水の安定供給や公衆衛生の向上を図る。 ○生活用水確保対策事業 給水装置の新設・改修：対象事業の2分の1以内の額、30万円を上限 ○飲用水給水ホース等購入補助金 ①給水ホース：購入価格の9割以内の額、5万円を上限 ②貯水用タンク：購入価格の2分の1以内の額、2万円を上限				
年度概要	高松市内における香川県広域水道企業団水道事業の給水対象外の区域に居住する人に対し、自家用給水装置等の費用の一部を補助し、自己の用に供する飲用水の安定的な確保を図る。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市生活用水確保対策事業補助金交付要綱

【事業の目的】

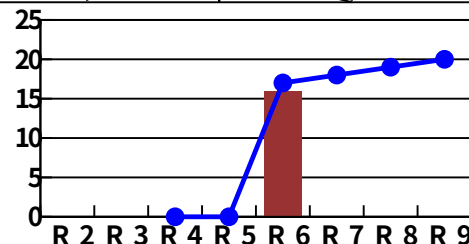
対象（何を）	給水対象外の区域に居住する人
意図（どのような状態にしたいか）	飲用水の安定的な確保を推進することで、水の安定供給や公衆衛生の向上を図る。

【事業の活動】

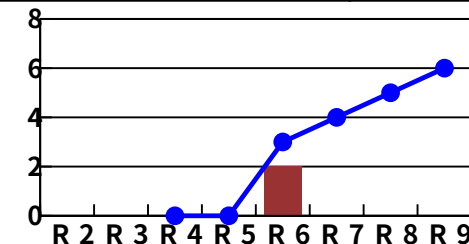
	活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	生活用水確保対策事業補助件数	件	0	0	0	1	1
②	飲用水給水ホース等設置事業補助件数	件	0	0	0	1	1

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
生活用水確保対策事業補助累計数（21年度～）	件	目標値	0	0	17	18	19	
		実績値	0	0	16			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	補助金の交付申請がなかったため未達成。		(目標達成度)					94.1%
			(得点)					33点

成果指標②

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
飲用水給水ホース等設置事業補助累計数（21年度～）	件	目標値	0	0	3	4	5	
		実績値	0	0	2			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	補助金の交付申請がなかったため未達成。		(目標達成度)					66.7%
			(得点)					23点

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	1,497	1,805	1,544	1,894
	(事業費)	0	300	0	350
	(職員人件費)	1,497	1,505	1,544	1,544

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	高松市内における香川県広域水道企業団水道事業の給水対象外の区域に居住する人に対し、自家用給水装置等の費用の一部を補助し、自己の用に供する飲用水の安定的な確保を図る。	生活用水確保対策事業補助金 0円 飲用水給水ホース等設置事業補助金 0円	総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	
令和 7 年度	高松市内における香川県広域水道企業団水道事業の給水対象外の区域に居住する人に対し、自家用給水装置等の費用の一部を補助し、自己の用に供する飲用水の安定的な確保を図る。	生活用水確保対策事業補助金 300千円 飲用水給水ホース等設置事業補助金 50千円	総額	350	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	350	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	78 / 100 (78 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

昨年度は、補助金の交付実績はなかった。例年、当事業に対する問い合わせはあるが、補助申請の件数は、減少傾向にある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

引き続き、広報紙等で当事業の周知を行い、給水対象外の区域に居住する人の飲用水の安定的な確保を図るものである。

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標		都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価 担当	局名	環境局
	政策		環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	環境総務課
	施策		ゼロカーボンシティの実現		電話番号	087-839-2388
	取組方針		脱炭素型ライフスタイルの普及促進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		緑のカーテン事業			

【事業全体概要】

事業概要	「高松市地球温暖化対策実行計画」において、適応策として積極的に推進することとしている「緑のカーテン」について、緑のカーテン講座の開催や周知啓発を行うほか、コミュニティセンターや学校などの公共施設における緑のカーテンの実施を推進する。				
年度概要	夏の省エネ対策にもなる、緑のカーテン作り方講座を開催し、市民や事業者に対して積極的に地球温暖化対策に取り組むよう促す。 また、相乗効果を図るため、高松市脱炭素型都市推進会議による緑のカーテンコンテストを開催する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

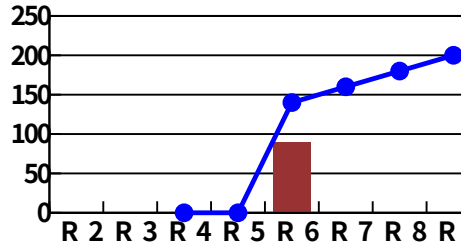
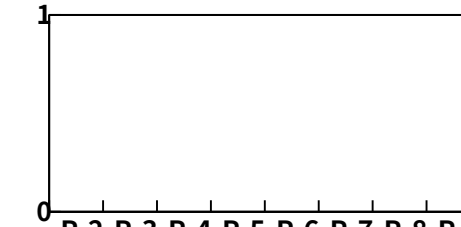
【事業の目的】

対象（何を）	市内の住宅、事業所、学校、教育・保育施設、公共施設
意図（どのような状態にしたいか）	緑のカーテンを普及させることにより、省エネルギーの推進と温室効果ガス（二酸化炭素）の削減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	緑のカーテン説明会実施回数	回	0	0	5	8	9
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)				単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8				
	緑のカーテン講座受講者数				人	目標値	0	0	140	160	180				
						実績値	0	0	89						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）														
	環境ワークショップ（主催講座）や出前講座において緑のカーテン講座を開催したが、受講者数は目標の63.6%に留まった。					(目標達成度)									
(得点)															
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)				単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8				
						目標値									
						実績値									
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）														
						(目標達成度)									
(得点)															

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	1,559	1,547	1,576	1,577
	(事業費)	62	42	32	33
	(職員人件費)	1,497	1,505	1,544	1,544

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	夏の省エネ対策にもなる、緑のカーテン作り方講座を開催し、市民や事業者に対して積極的に地球温暖化対策に取り組むよう促す。 また、相乗効果を図るため、高松市脱炭素型都市推進会議による緑のカーテンコンテストを開催する。	緑のカーテン講座実施費用 3 2 千円	総額	32	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	32	
令和 7 年度	夏の省エネ対策にもなる、緑のカーテン作り方講座を開催し、市民や事業者に対して積極的に地球温暖化対策に取り組むよう促す。 また、相乗効果を図るため、高松市脱炭素型都市推進会議による緑のカーテンコンテストを開催する。	緑のカーテン講座実施費用 3 3 千円	総額	33	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	33	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	68 / 100 (68%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
環境ワークショップ（主催講座）や出前講座において緑のカーテン講座を開催することで、多くの市民に緑のカーテンの効果を啓発周知できた。一方で、緑のカーテンの植付の時期が年度始めの繁忙期と重なることや期間が短いほか、ライフスタイルの変化により実際の栽培が困難であったりと、講座の参加や開催に結び付かず、講座参加者数は減少しているため、引き続きより多くの市民や事業者に対して認知度の向上や普及促進に取り組んでいく必要がある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
地球温暖化対策として有効な緑のカーテンの普及啓発を図るため、引き続き、緑のカーテン講座を開催するとともに、本市ホームページなどを通じた周知啓発を実施していく。						

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	環境総務課
	施策	循環型社会の形成		電話番号	087-839-2388
	取組方針	環境意識の醸成		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	環境保全推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	国が主唱する6月の環境月間に併せて環境展を開催し、環境問題を考える契機を提供するとともに、環境活動団体との協働による環境学習の実施により、環境活動団体の支援や、より一層の市民の環境意識の向上を図る。また、本市の環境の状況や環境保全に関する施策の実施状況等を取りまとめた高松市環境白書の発行を行う。				
年度概要	環境展を開催するとともに、環境学習の実施により、市民に対し環境意識の向上を図り、環境問題全般に関する啓発を行う。 また、本市の環境の状況や環境保全に関する施策の実施状況等を取りまとめた高松市環境白書の発行を行う。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

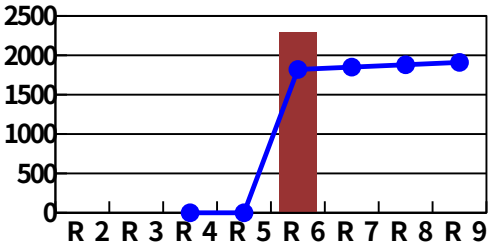
対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	環境活動団体や関係機関と協力して環境学習講座の充実に努めるとともに、講座の開催等について市の広報紙やホームページ・SNS等の活用や、教育委員会等との連携により参加者の増加に努め、市民の環境意識の底上げを図る。

【事業の活動】

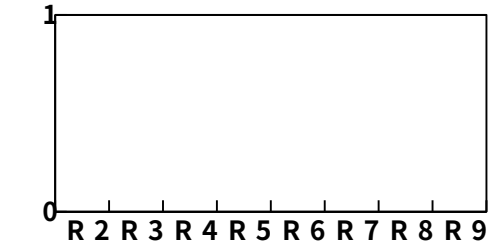
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	環境学習講座実施回数	回	0	0	76	61	62
②							

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
環境学習講座参加者数	人	目標値	0	0	1,820	1,850	1,880
		実績値	0	0	2,298		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
環境学習講座実施回数が増加したことに伴い、参加者数も大幅に増加したことから目標値を達成しており、参加した市民を通して環境意識の向上が図られている。	(目標達成度)	126.3%					
	(得点)	35点					

成果指標②

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	(目標達成度)						
	(得点)						

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)	
トータルコスト	[千円]	21,451	21,076	23,292	25,903	
	(事業費)	[千円]	6,483	6,022	7,852	10,463
	(職員人件費)	[千円]	14,968	15,054	15,440	15,440

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	環境展を開催するとともに、環境学習の実施により、市民に対し環境意識の向上を図り、環境問題全般に関する啓発を行う。 また、本市の環境の状況や環境保全に関する施策の実施状況等を取りまとめた高松市環境白書の発行を行う。	環境保全推進費	総額	7,852	
		7,827千円	特定財源	国	0
		環境白書発行		県	0
		25千円		市債	0
				他	0
		一般財源	7,852		
令和 7 年度	環境展を開催するとともに、環境学習の実施により、市民に対し環境意識の向上を図り、環境問題全般に関する啓発を行う。 また、本市の環境の状況や環境保全に関する施策の実施状況等を取りまとめた高松市環境白書の発行を行う。	環境保全推進費	総額	10,463	
		7,912千円	特定財源	国	0
		環境白書発行		県	0
		25千円		市債	0
		生物多様性地域戦略		他	0
	2,526千円	一般財源	10,463		

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
学校・コミュニティセンターからの依頼が増加したことより、環境学習講座の実施回数は令和5年度より増加し、1回あたりの参加者数も増加したことにより、参加者数は5年度より増加した。 実施回数を増やし続けることには限界があることから、引き続き、市民に身近な環境問題をテーマに環境学習講座の充実を図り、参加者数のみならず、満足度等の新指標の導入も検討する必要がある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
環境問題に対する市民意識の高まりに対応するとともに、ゼロカーボンシティの実現に向けては、本市の温室効果ガスの排出量の約6割を家庭部門及び業務その他部門が占めていることから、市民一人一人のより一層の意識啓発を行う必要があることから、事業を継続する必要がある。						

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	環境総務課
	施策	循環型社会の形成		電話番号	087-839-2388
	取組方針	環境意識の醸成		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	環境美化推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	「高松クリーンデー“たかまつきれいでー”」、「サンポート高松・中央通り等一斉清掃」及び「環境美化推進運動功労者等表彰」等を、高松市環境美化都市推進会議と共催することにより、自治と連帯の精神に根ざした、清潔で美しいまちづくり活動の推進を支援してきた。 令和4年度末に高松市環境美化都市推進会議は発展的解消し、同会議が担ってきた「環境美化・緑化」に資する事業や理念を継承しながら、脱炭素型都市の推進を目指すために令和5年度に新たに発足した「高松市脱炭素型都市推進会議」と、これまで同様に共催事業を開催していく。				
年度概要	高松市脱炭素型都市推進会議と「サンポート高松中央通り等一斉清掃」や「高松クリーンデー“たかまつきれいでー”」等の美化活動、緑のカーテンコンテストや環境学習支援事業等を共催し、環境美化、脱炭素型ライフスタイルに対する意識啓発に努める。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

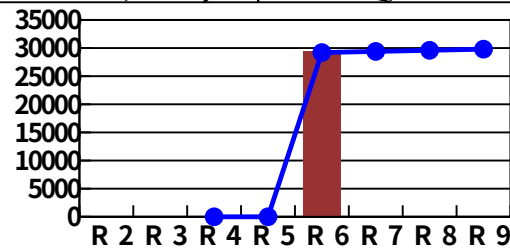
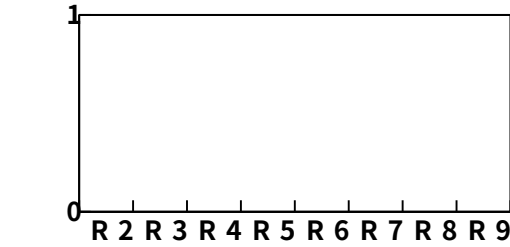
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	「高松クリーンデー“たかまつきれいでー”」、「サンポート高松・中央通り等一斉清掃」等の環境美化活動に参加することによって、地域愛護や環境美化の意識を培うとともにポイ捨て禁止の意識啓発を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	高松クリーンデー等の清掃活動実施回数	回	0	0	15	15	16
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	高松クリーンデー参加者数	人	目標値 実績値	0 0	0 0	29,200 29,417	29,400	29,600
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	高松クリーンデー参加者数は、企業・団体からの参加者数が増加傾向にあり、目標値を上回る実績となった。		(目標達成度) 100.7%					
			(得点) 35点					
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度)					
			(得点)					

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	10,365	10,304	12,067	11,464
	(事業費)	636	519	2,031	1,428
	(職員人件費)	9,729	9,785	10,036	10,036

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	高松市脱炭素型都市推進会議と「サンポート高松中央通り等一斉清掃」や「高松クリーンデー“たかまつきれいでー”」等の美化活動、緑のカーテンコンテストや環境学習支援事業等を共催し、環境美化、脱炭素型ライフスタイルに対する意識啓発に努める。 また、市の設置する屋外喫煙所の灰皿について、海洋汚染等に配慮し、消火に水を使わないタイプの灰皿に更新する。	環境保全推進費 2,031千円	総額	2,031	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,031	
令和 7 年度	高松市脱炭素型都市推進会議と「サンポート高松中央通り等一斉清掃」や「高松クリーンデー“たかまつきれいでー”」等の美化活動、緑のカーテンコンテストや環境学習支援事業等を共催し、環境美化、脱炭素型ライフスタイルに対する意識啓発に努める。	環境保全推進費 1,428千円	総額	1,428	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,428	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
環境美化都市宣言の精神に基づき、市民、企業、ボランティア、行政の協働による環境美化の事業を実施しており、これからも環境美化、脱炭素型ライフスタイルの推進に向けた事業を検討、実施していく。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
産学官民が連携した市民会議「高松市脱炭素型都市推進会議」と共催事業を開催することで、環境美化や脱炭素型ライフスタイルの推進に向けて効果的な啓発に取り組んでいく。						

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	環境総務課
	施策	循環型社会の形成		電話番号	087-839-2388
	取組方針	環境意識の醸成		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	高松市環境衛生組合連合会活動推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	高松市環境衛生組合連合会の運営等に対して、補助金を交付することで、地域住民の自主的な環境美化活動を支援し、自然環境の保全・環境美化の推進を図る。 (組織概要) 同連合会は、環境衛生等に関する自主的実践活動を行う地区衛生組合協議会の連合体。 (活動内容) 同連合会は、各地区での清掃活動の推進、環境美化に関する啓発活動など、組合員の自主的な実践活動を通じて、環境美化等の推進を図っている。				
年度概要	高松市環境衛生組合連合会の運営、各地区衛生組合協議会の清掃活動参加者を対象にした啓発活動について、補助金を支出し、地域住民が主体となった環境美化活動やごみの適正排出等の活動を促進する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

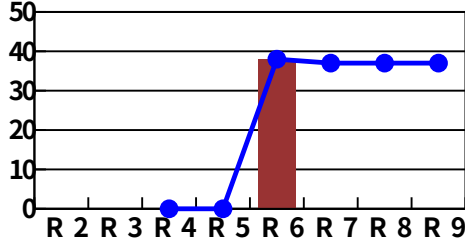
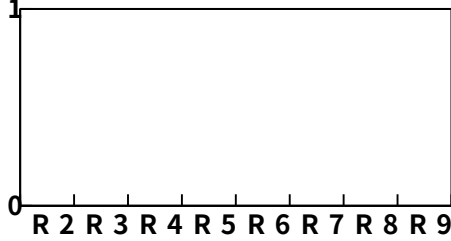
【事業の目的】

対象（何を）	衛生組合加入世帯
意図（どのような状態にしたいか）	地域住民が主体となって、生活環境の改善及び環境美化推進を図り、健康で住み良いまちづくりを実現する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	高松市環境衛生組合連合会運営に対する補助件数	件	0	0	1	1	1
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	河川等清掃活動を実施する地区衛生組合協議会数		協議会	目標値	0	0	38	37	37	
				実績値	0	0	38			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	各地区衛生組合協議会において、住民主体の清掃活動が実施されており、自然環境の保全・環境美化の推進に貢献している。		(目標達成度) 100.0%							
(得点) 35点										
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	8,103	7,357	7,520	7,524
	(事業費)	2,864	2,088	2,116	2,120
	(職員人件費)	5,239	5,269	5,404	5,404

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	高松市環境衛生組合連合会の運営、各地区衛生組合協議会の清掃活動参加者を対象にした啓発活動について、補助金を支出し、地域住民が主体となった環境美化活動やごみの適正排出等の活動を促進する。	環境衛生組合連合会運営補助金 1,737千円 脱炭素型まちづくり推進事業 啓発活動補助金 379千円	総額	2,116	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,116	
令和 7 年度	高松市環境衛生組合連合会の運営、各地区衛生組合協議会の清掃活動参加者を対象にした啓発活動について、補助金を支出し、地域住民が主体となった環境美化活動やごみの適正排出等の活動を促進する。	環境衛生組合連合会運営補助金 1,735千円 脱炭素型まちづくり推進事業 啓発活動補助金 379千円 視察研修日当 6千円	総額	2,120	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,120	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
当事業は、環境衛生組合連合会の活動を支援するもので、同連合会は、例年と同じく地域での清掃活動の推進や環境美化の啓発活動等を実施しており、全ての地区衛生組合協議会が住民全体の清掃活動を実施するなど、自然環境の保全・環境美化の推進に貢献している。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
令和5年度に、衛生組合連合会の規約の改正があり、名称を「高松市衛生組合連合会」から「高松市環境衛生組合連合会」に変更した。今後においても、同団体の理念や事業内容は継承しながら、脱炭素型まちづくりの推進を図っていくことから、引き続き、同団体を支援していく。						